

# 全 員 協 議 会

令和8年6月1日  
午前10時開議  
301会議室

## 協 議 事 項

- 1 行政視察の報告について  
(議会運営委員会)
- 2 その他

# 委員会開催報告

(4月22日から6月1日まで)

## 1 常任委員会

(1) 総務経済委員会 (5月14日 午前10時から)

- ・報告事項
- ・その他

(2) 教育民生委員会 (5月15日 午前10時から)

- ・納税貯蓄組合による市税等の事務取扱いの終了について
- ・その他

## 2 特別委員会

(1) 公共施設マネジメント特別委員会 (5月14日 午後1時から)

- ・公立保育園の在り方について

(2) 議会活性化特別委員会 (5月15日 午後3時20分から)

- ・令和8年度中学生議会について
- ・令和8年度議会報告会について

# 議会運営委員会 行政視察報告

4月15日から16日にかけて、委員7名、正副議長、事務局随員2名の合計11名で、神奈川県川崎市・東京都江東区を視察してまいりました。

## ■神奈川県川崎市 「タブレット端末を活用した スマート会議システムの運用 などについて」

川崎市議会では、コロナ禍の中にあつて、総務省からオンライン会議を用いた委員会開催に関する見解が示されたことを契機として、オンライン会議の開催が可能となる環境整備等に関する検討を行う「川崎市議会委員会等におけるオンライン会議に関する検討プロジェクト」を設置。このプロジェクトで様々な検討を進め、令和4年3月定例会で委員会条例等の改正を行い、同年5月から7月までの期間で試行実施を重ね、8月から本格実施を開始したとのことでした。

オンライン委員会の開催要件は、令和6年度までは「新型コロナウイルス感染症その他重大な感染症のまん延防止のために必要がある場合」「大規模な災害の発生等により委員会を招集する場所に参集することが困難である場合」とされていましたが、令和

## 行政視察報告

ムービーの制作について」及び「音声認識システムを利用した字幕表示について」の説明を受けました。

## ■東京都江東区 「議員休職制度による会社員と議員の兼職について」

当市議会においては、若者や女性、会社員などの多様な人材の市議会への参加と活性化について検討を行っています。

江東区議会の鈴木綾子議員は、会社員であった平成21年に、当時勤務していた会社の「議員休職制度」を利用して立候補し、当選しました。

この制度は、社員が市区町村議員になった場合、最大3期まで、無給での休職を認めるもので、落選した場合でも職場に復帰することができるとのことです。立候補しやすい環境が整えられています。

鈴木議員は、その後、会社を休職しながら区議会議員を務めていた期間がありました。（4期目当選時に規定により会社を退職。）

「会社員だからこそ、働く世代の声を実感として政治に届けられる」との想いから立候補された鈴木議員は、女性の会社員という、これまで地方議会に少なかった立場から、世代や立場の異なる人々をつなぐ役割の重要性を

意識しながら活動しているとのことでした。

「議員休職制度」は、雇用側（会社側）の制度ではありませんが、鈴木議員から聴き取った貴重な体験談や今の想いについては、議員の成り手不足解消に向けた今後の取組の参考にしたいと思います。



▶ 東京都江東区

## ■視察を終えて

円滑な議会運営及びさらなる議会改革を進める上で、今回の視察で学んだことを、今後の議会運営に活かしていきたいと思えます。



▶ 神奈川県川崎市

当市議会でも同様の経緯を経て条例改正等の所要の措置を講じており、川崎市議会での運用状況を参考に、引き続き適切な運用に努めたいと考えます。このほか「市議会コンセプト

## 令和8年度における加賀温泉郷寛平ナイトマラソンの開催の見送りについて

### <経緯>

- マラソンを通じて国内外の交流人口増進と観光都市「加賀温泉郷」の活性化を図ることを目的として、吉本興業株式会社の協力の下、加賀温泉郷寛平ナイトマラソン実行委員会(大会長:加賀市長、大会プロデューサー:間寛平氏)の主催により実施。(※事務局 平成28年～令和元年:加賀青年会議所、令和5年以降:加賀市教育委員会スポーツ担当課)
- 下記の状況を踏まえ、今後、より多くの市民の皆様が、安全に、かつ安心して参画できるイベントの在り方を検討するため、令和8年度大会について、開催を見送ることとした。

### <背景>

- 大会ボランティアスタッフは、令和元年の238名から、令和7年は175名へと減少しており、今後も減少が見込まれる。市職員の派遣数は225名に達しており、これ以上の動員については、夜間業務という特性も相まって、通常業務との両立が極めて困難な状況にある。
- 夜間の山間部を走行するコース特性上、クマを含めた野生鳥獣の出没リスクを排除することは難しく、ボランティアスタッフから不安の声が届いている。また、医療・救急に対応する人材の継続的な確保にも課題がある。
- 市のスポーツ振興の観点では、令和7年大会の直近の市民参加率は6%に留まっている。
- 観光振興の観点では、参加者の約66%が日帰り客、約2%は車中泊であり、市内宿泊客は、開催当初の約24%から約17%に低下している。
- これまでも安全面、旅館送迎や市民生活への配慮の観点から、コースや交通規制の運用については最大限改善を行ってきており、これ以上の変更は難しい状況にある。また、スタート地点のキャパシティ等の関係で、申込定員を拡大することも困難となっている。
- これらの状況や、今後も運営コストが上昇していくことが見込まれること、コース周辺の市民生活や旅館送迎に影響を与えている実態等を踏まえれば、これまでと同様の在り方を継続することは難しく、市民の健康増進と地域活力の向上のための新たなイベントの在り方を検討しているところ。

#### (参考)令和7年大会概要

開催日時:令和7年9月13日(土)

16:00 スタート、19:00～21:30 後夜祭

コース :山中温泉山中座～ゆげ街道～杉水町～県民の森～山中温泉東谷地区

～四十九院トンネル～黒谷橋～本町通り～山中温泉山中座(全32km)

参加者 :1,030名

市内在住者 約6%

日帰り参加 約66% 市内宿泊 約17% 車中泊 約2%

## 令和7年国勢調査結果（総務省人口速報集計）の概要について

令和7年10月1日現在で実施された国勢調査の結果による加賀市の人口及び世帯数の概要は次のとおりです。

なお、この数値は速報値につき、その後の確報値と異なる場合があります。  
 ※加賀市並びに石川県、金沢市及び小松市の速報値は、5月8日発表の石川県の速報集計と同数です。

### 1 人口及び世帯数 【 】内は、対前回調査比

#### (1) 総人口 58,691 人（男：27,777 人、女：30,914 人）【△4,529 人（△7.16%）】

令和7年10月1日現在の本市の人口は 58,691 人（男：27,777 人、女：30,914 人）となり、前回調査（令和2年）と比べて 4,529 人減少（増減率△7.16%）しています。

#### (2) 世帯数 25,018 世帯【△243 世帯】、一世帯当たり人員 2.35 人【△0.15 人】

令和7年10月1日現在の本市の世帯数は 25,018 世帯で、前回調査に比べ、世帯数は 243 世帯減少（増減率△0.96%）しています。

また、一世帯当たり人員は 2.35 人となり、前回調査と比べて 0.15 人減少しています。

### 2 国勢調査における人口及び世帯数の推移

年次	人口（人）			世帯数（世帯）		
	総数	増減数	増減率（%）	総数	増減数	増減率（%）
平成17年	74,982	△3,581	△4.56	25,999	△265	△1.01
平成22年	71,887	△3,095	△4.13	25,966	△33	△0.13
平成27年	67,186	△4,701	△6.54	24,841	△1,125	△4.33
令和2年	63,220	△3,966	△5.90	25,261	420	1.69
令和7年	58,691	△4,529	△7.16	25,018	△243	△0.96

### 3 （参考）近隣市等の人口及び世帯数

石川県及び近隣市の人口は以下のとおりです。

	人口（人）			世帯数（世帯）		
	令和7年	令和2年	増減率（%）	令和7年	令和2年	増減率（%）
石川県	1,088,221	1,132,526	△3.91	476,897	469,910	1.49
金沢市	454,071	463,254	△1.98	212,869	207,520	2.58
小松市	103,597	106,216	△2.47	42,381	41,312	2.59
あわら市	25,747	27,524	△6.46	9,996	9,933	0.63
坂井市	84,792	88,481	△4.17	31,487	31,067	1.35

## 加賀市事業継続評価会の評価結果について

将来にわたり持続可能な財政基盤を構築するため、「事業の選択と集中」をより一層加速させるにあたって、市が実施している各事業の内部評価に対して、客観的な視点からその効果や影響を検証することを目的に、「加賀市事業継続評価会」を開催しました。

### 1. 実施概要

日 時：令和8年4月23日（木） 9:30～12:00、13:00～16:30

会 場：加賀市市民会館 3階 大ホール

評価主体：加賀市事業継続評価会委員（産・官・学・民・金で構成された10名）

評価対象：内部評価43事業のうち12事業

### 2. 評価方法

事業継続評価として「行政が行った評価（内部評価）は適切か」について、市民目線で再評価（外部評価）をしました。

内部評価：継続／縮小／廃止

※所管課による令和7年12月時点での方向性を示したものです。

外部評価：適切（内部評価は適切）

修正（事業の手法や実施主体、事業費等の見直しが必要）

再考（事業の方向性（継続・縮小・廃止）を含め、抜本的に見直しが必要）

### 3. 評価結果

事業番号	事業名	内部評価	外部評価	コメント
41	生活バス路線維持・活性化助成事業	継続	適切	・市民と観光客の足の確保は、区分けして、それぞれの状況に応じた対策を講じていくことが必要 ・KPIや予算のつけ方は重要なので担当課で精査をすること。
11	学校給食費無償化事業	継続	適切	・地産地消で郷土愛を育むことが重要
6	保育園等副食費無料化事業	縮小	再考	・再生プロジェクト検討会でも推進すべきと議論がなされた。 ・今後も財源確保に尽力し、限りある財源の中で議論を深め、真摯に対応をすること。
4	多子世帯放課後児童クラブ利用助成事業	縮小	再考	・子育てにいい街というキャッチコピーをつけて対応をすること。
7	加賀市保育園ビジョン推進事業	縮小	修正	・執行状況も見ながら予算額の見直しも行うこと。

事業番号	事業名	内部評価	外部評価	コメント
10	大聖寺歴史的街なみ整備事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人への街なみへの意識づけや郷土愛の醸成が必要</li> <li>・観光のためか、市民のためか、両輪かビジョンを明確にしていくこと。</li> </ul>
1	住宅取得助成事業	縮小	適切	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続の重要性と財政規律の総合的判断での予算額の縮小として理解した。</li> </ul>
14	DX人材リスキリング促進事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランドマネジメントを誤ると地域の産業創出に結びつかない可能性があるため留意すること。</li> <li>・コンサルタントだけではなく大学との連携も視野に入れること。</li> </ul>
29	地域課題解決実証事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の誘致や雇用の創出につなげるビジョンが必要</li> <li>・しっかり予算を確保し、地場産業へと結び付けていくこと。</li> </ul>
37	芸妓活動支援事業	廃止	再考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光視点では必要性が低いとしても文化・伝統を守るために支援は残すべき。</li> <li>・支援団体ともしっかり話し合いをすること。</li> </ul>
39	山中節振興会活動事業	廃止	再考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北前船とも結びつきが強い貴重な文化のため、継承するために支援を継続すべき。</li> <li>・誘客だけでなく、あらゆる視点で存続できるよう再考すること。</li> </ul>
20	インバウンド推進事業	継続	適切	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富裕層向け体験商品の造成、販売においてできる限り市内事業者が担い手になるようにすべき。</li> <li>・ターゲットや戦略もしっかり考えていくこと。</li> </ul>

※事業番号は内部評価43事業に付した番号、掲載順は加賀市事業継続評価会当日の議題順

※詳細は別添「内部評価報告書」参照

#### 4. 今後の予定

- ・評価結果を市HPに掲載
- ・評価結果を踏まえ、事業の継続や廃止を含めた見直しを進めるとともに、今後の施策展開に反映